

愛媛県バスケットボール協会 審判委員会
審判委員長 様

審判講習会 参加報告書

平成31年1月4、5日
報告者 高橋瑞紀

この度参加しました、審判講習会について報告します。
なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

講習会名 (大会名)	U 28 YOC(ヤングオフィシャルキャンプ) 2018
参加者 (報告者)	高橋瑞紀(社会人連盟)
期 日	平成31年1月4日(金) から 平成31年1月5日(土)
会 場	ヤマト市民体育館
講 師	阿部氏、前田氏、加藤氏、有澤氏、堀内氏、熊谷氏、福岡氏、上田氏、宇田川氏、岩田氏、鈴木氏 (順不同、敬称略)
参加者	全国から28名
報告① 講義	<p>□講 義 講師 鈴木淳 氏(JBA) テーマ『インテグリティについて』</p> <p>■講習内容</p> <p>JBAの理念は、「バスケットで日本を元気に」である。理念実現に向け、「インテグリティの精神(誠実さ、真摯さ、高潔さ)」に基づき、人間力・指導力・組織力を高め、バスケットボールの価値を高めるための指針決定・啓発活動を目的とするインテグリティ委員会が設立された。</p> <p>中でも、「人間力」の高め方についてお話をいただいた。人間力を高めるために、</p> <p>①大人のマインドセット 過去や未来にとらわれない、他者と比較をしない 「OR(どちらか)の抑圧」をはねのけ「AND(どちらも)の才能」を活かす プライドと pride 自己開示をするアイデンティティ</p> <p>②大人の学び インプットよりアウトプット 成功体験より失敗体験 予習より復習 そして「つながり」を大切にする 大人の学びは痛みを伴う</p> <p>③大人のミッション 義務→自分のため→他者のため、世のため</p> <p>④大人の行動指針 規則<規範</p> <p>⑤大人の「つながり」 システム思考</p> <p>以上のことが大切であると教えていただいた。</p>

<p>報告② 講義</p>	<p>□講 義 講師 福岡敏徳氏 熊谷久美子氏 上田篤拓氏 テーマ『3PO メカニクスについて』</p> <p>■講習内容 ビデオクリップを用いて、起こりうるケースの予測、プレカンファレンスでの内容等について教えていただいた。</p> <p>IOT(インディビジュアル・オフィシエーティング・テクニク)の確認。今までの4原則がなくなった訳ではない。新たな考え方として、理解しておく必要がある。</p> <p>PGC(プレゲームカンファレンス)では、基本的なメカニクスの確認、new ルールの確認、対戦チームの情報について話す。3PO では、ローテーションや OT(オーバータイム)、重複することや基本的なことでも、必ずクルーで確認をするということであった。</p>
<p>報告③ 講義</p>	<p>□講 義 講師 加藤誉樹氏 テーマ『トップレフリーの取り組み』</p> <p>■講習内容 国内唯一のプロレフリーとして活躍されている加藤氏のお話を聞いた。中でも、プレゼンテーションの大切さについてお話をしていただいた。判定に説得力を持たせるためにも、相手からの見え方を意識するようになる。2枚のレフリーの写真を見て、どのような印象を持ったかを話し合った。そこから、自分自身の立ち姿や態度・振る舞いをどのようにしていけば良いのかを考えた。</p> <p>また、FIBA レフリーとして国際試合を担当していることについて話を聞いた。アジア大会に派遣された時には、約2ヶ月前から組まれたトレーニングメニューに取り組んだり、派遣先の国で、事前のディスカッションやトレーニングがあるということを知った。</p>
<p>報告④ 講義</p>	<p>□講 義 講師 堀内純氏(有澤重行氏)上田篤拓氏 テーマ『映像検証 英語でのディスカッション』</p> <p>■講習内容 事前課題として、実際の Bリーグの試合を1試合みて、presentation、mechanics、game control、judgement の4つの観点で気になるケースをピックアップした。そのケースの説明を英語で行い、質疑応答するというディスカッションを行なった。</p> <p>事前に同グループの受講者と連絡を取り合い、ピックアップするケースを決定し、クリップ動画を作成する人、意見をまとめる人、英訳する人など、分担して準備を行なった。当日はクリップ動画を再生しながら、英語で発表を行なった。質問をする際には、「my opinion」と言い、自分の意見を加えて質問をした。伝えたいことがあるが、言葉が足りず、上手に伝えられないことがほとんどであった。もどかしさを感じるとともに、英語の必要性を痛感した。</p>

<p>報告⑤ 実技</p>	<p>2日目のディスカッションのグループを中心に、クルーが生まれ、Bリーグ U15のフレンドリーゲーム(ハーフゲーム)を使って実技を行なった。様々な講師の方からアドバイスをいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ローテーションのタイミングをワンテンポ遅らせる(ポーズ)。 ・ センターポジションの位置取り。コートの中で判定する。 ・ プレゼンテーションの大切さ。歩く動作も大切にす。 ・ 周りからの見られ方を意識する。 ・ ニューセンターになった時、体をコートに対して平行にする。 ・ 接戦の時、タイムアウト時に次のプレーについて確認しておく。 ・ センターからの判定を積極的に続けていく。 ・ リードのメカニクスの再確認をする。 (セットアップポジション、クローズダウンポジションの意識) ・ クロスコールをしてしまっている意識を持つ。
<p>所感</p>	<p>2日間を通して、28名の受講生とつながり、関わることができました。A級の方から今年度B級になったフレッシュマンの方まで幅広くいらっしゃいましたが、皆さんが同じ気持ち・同じモチベーションで臨んでいた講習会でした。私自身、本講習会に参加するにあたって、3POメカニクスや英語の勉強をしました。ですが、まだまだ勉強不足・力不足であるということを実感しました。理解しているつもりでも、実際に試合を通して経験し、振り返りをしなければ身に付かないと思いました。英語についても、普段から勉強し慣れ親しんでいなければ全くできないものなんだと思いました。</p> <p>3POが身近な試合でも増えてきている中、今回学んだメカニクスやクルーワークについて、県内でも共有し、普及していきたいと思います。また、「バスケットが楽しい、審判が楽しい」と感じてくれる人がこれからも増えていくよう、人間関係作りや環境作りに徹していきたいと思います。今回本講習会に参加して、私自身初心に戻り、学ぶことができました。目標を高く持ち、県内県外問わず誰からも信頼される審判を目指して、これからも努力を続けたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、本講習会を企画・運営してくださったJBA岩田様を始めたくさんの講師の皆さま、本講習会に派遣してくださった四国ブロック審判長柏原様、愛媛県審判長薦田様に厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。</p>